

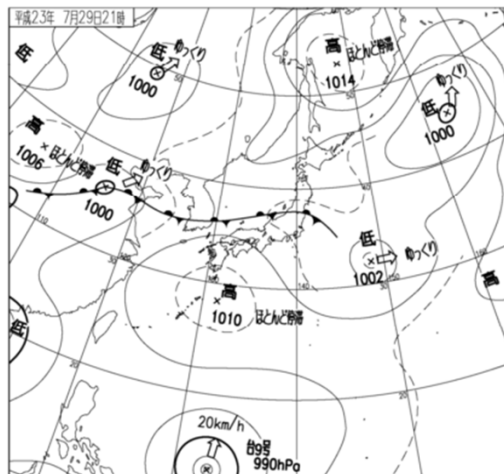
【平成23年7月新潟・福島豪雨】平成23（2011）年7月27日から30日にかけての前線停滞による記録的な大雨

前線の停滞による大雨 ～土砂災害、河川氾濫による多数の施設被害、人的被害～

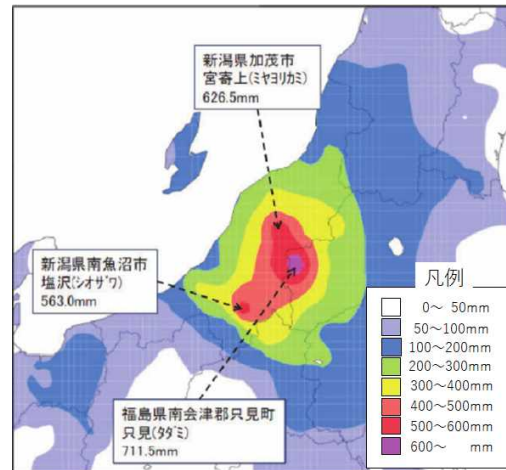
【概要】

平成23（2011）年7月27日から30日にかけて、前線が朝鮮半島から北陸地方を通して関東の東にかけて停滞し、前線に向かって暖かく非常に湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、新潟県と福島県会津を中心に記録的な大雨となった。27日から30日の降水量は加茂市宮寄上で626.5ミリ、南魚沼市塩沢で563.0ミリと7月の月降水量平年値の2倍以上を観測した地点があった。また、十日町で1時間降水量121.0ミリ（29日）など各地で猛烈な雨を観測した。気象庁は、この大雨を「平成23年7月新潟・福島豪雨」と名称を定めた。

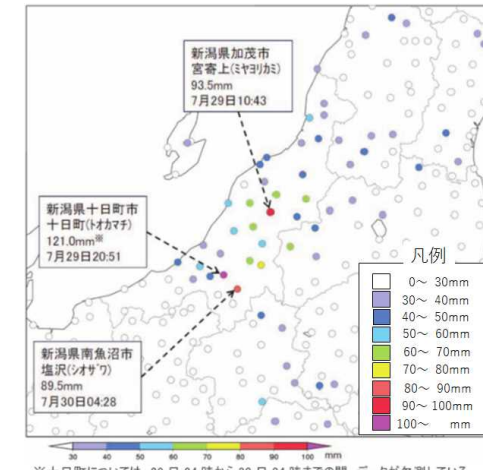
この大雨により、新潟県では川に転落するなどして4人が死亡した。また、上越、中越を中心に、土砂災害による施設被害や河川堤防の破堤により家屋が浸水するなどの被害が相次いだ。（被害状況は「平成23年7月新潟・福島豪雨による被害状況について（新潟県）」による）



地上天気図 2011年7月29日21時



降水量分布図
7月27日00時～7月30日24時



※十日町については、29日24時から30日24時までの間、データが欠測している

最大1時間降水量分布図
7月27日00時～7月30日24時